

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	生活環境保全事業	会計名称	一般会計			担当課	環境保全課	
		予算科目	4 款 1 項 5 目	事業番号	2185	所属長名	泉仁	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)					担当責任者名	桂城健恭	
法令根拠等						実施期間	【開始】	平成 25 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 循環型社会構築に向けた環境づくり						【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	環境ボランティア活動に対する理解の熟成							
事業の対象	市内全域			事業の目的	先人達から受け継いだ素晴らしい自然を、次の世代へ引き継ぐ責務に気付き、市民・事業者・行政が協働し、良好な環境の中で市民生活を営むことができるよう、豊かな環境がもたらす財産を守るための持続的な活動に取り組む。			
事業の内容 (整備内容)	市民清掃等により生じる廃棄物の処理、不法投棄の防止に向けた啓発			昨年度の課題に対する具体的な改善策	地域清掃活動を統一して実施するのではなく、各地域清掃を主体的に実施するように協議することが課題である。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	2,679	3,606	0	0	0	3,231	クリーン伊予運動 (参加人数)	人	5998	6000	6960	6960
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	2,679	3,606	0	0	0	3,231	クリーン伊予運動 (可燃物処理経費等)	トン (千円)	14 (894)	14 (1378)	14 (1317)	14 (1317)
職員の人工 (にんく) 数	0.65	0.65				0.65	クリーン伊予運動 (不燃物及び汚泥処理経費等)	㎡ (千円)	22 (1354)	24 (1749)	24 (1462)	24 (1462)
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費+人件費	7,890	8,794				8,419						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				不燃物投棄防止看板配布数	枚	25	15	8	21
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					3,571	3,560	3,560	3,560	3,560	17,811		
成果指標	指標	不法投棄防止看板配布数	単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度		
			件		目標	15	15					
	指標設定の考え方	環境保全に向けた意識向上のパロメーターとして設定			実績	25	21					
	指標で表せない効果	市民意識の向上を図ってみても市外の投棄者までは啓発できないため不安定										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		区長には、クリーン伊予運動についてアンケート調査を実施し、全体的な意見を取りまとめた。										
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	B	事業成果・工夫した点	クリーン伊予運動を実施し、海岸等の清掃や地域一斉清掃を通して、環境美化推進に努めるとともに、地域コミュニティ活動を図ることができた。			
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	3							
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3							
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B	事業の苦勞した点・課題	事業実施において、アンケートの結果を直接結び付けることが出来なかった。事業の背景を洗い出し、地域一斉清掃について、地域主導の実施へと方向転換できるよう再検討していく必要がある。				
		コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D			
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3								
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が			B	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 良好な環境を市民一人ひとりが守っていかねばならないという意識付けを図るには必要な事業と思われるため、現時点では事業継続と判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3							14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。	2							
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3			14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3								
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	B	所屬長の課題認識	現在、クリーン伊予運動(海岸等清掃)と同時にやっている地域一斉清掃であるが、暑い盛りの中で熱中症が懸念され、3連休の中日ということもあり、地域からは日程変更の声もある。今後、地域一斉清掃については、同日開催でなければならないということもなく、ボランティア清掃の一環として、実施日の決定は地域に委ねる方向で働きかけてもいいのではないかと。					
	コスト効率	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。	3									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 <small>地域の清掃活動を地域主導によるクリーン伊予運動とすることは重要である。やらされている感から脱皮し、ボランティアの意義や子どもの頃から地域のことは地域で綺麗にするという意識付けにもなるよう推進されたい。</small>	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		<input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	コメント欄
	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。		